

第98回全国高等学校野球選手権愛知大会を振り返って

夏の選手権大会は、前週の天候不良から日程変更等が心配されましたが、予定通り7月16日豊田球場にて行うことができました。多くのご声援をいただきありがとうございました。

負ければ終わりのトーナメント戦。秋季大会の悔しさを胸に、冬のオフシーズンの期間に確実に力をつけてきました。春季大会では県大会まであと一勝というところまで上り詰めたものの県大会出場を逃しました。この夏の大会にかける思いがチームの一体感を作り上げてきました。挑戦者であること、結果思考ではなく行動思考に徹することを確認して夏の選手権大会に挑みました。

エースの孤軍奮闘に、打線が終盤援護し、2-2の状態でも延長戦に突入しました。しかし、延長戦に入ってから多くのチャンスを作るものの、得点に結びつけることができない苦しい状態。相手チームの攻撃を、練習でもなかなか見られないような好プレーの連続で耐える展開の連続でした。延長14回表に2点を奪われ敗戦。3時間を超える試合に終止符が打たれました。

3年生の一所懸命に目の前のボールに集中する姿勢は、後輩達にも多くのものを与えてくれたはず。そして、チームスローガンでもある「至誠発熱」にある「発熱」をしてくれました。3年生達の、試合後の悔しさと充実感とが入り交じった表情が印象的でした。部員が少ないながらも、上級生下級生関係なく、全員で練習に取り組んでくれました。結果に結びつけることはできませんでしたが、今後の長い人生の糧となる3年間であったはず。3年間、選手を支えて下さったご父兄の方々にも多大なご支援とご協力をいただきましたことをお礼申し上げます。

松 平 2-4 佐織工業

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
佐織工業	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	4
松 平	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2

吉田-鈴木